

児童に対する防犯ブザーの無償貸与について

最近、幼い子どもが被害に遭う痛ましい事件が全国で相次いで発生しています。

札幌市では、重大な事件は発生していませんが、児童の登下校中などの安全確保対策の一環として、特に犯罪に対する抵抗力の弱い低学年（小学1年生～小学3年生）の児童を対象に、防犯ブザーを無償で貸与することとしました。

この事業により、児童の安全が守られ、安心して学校に通うことができるような環境整備に一層努めたいと考えております。

1 事業の内容

(1) 貸与開始時期

平成18年7月18日（火）～平成18年7月25日（火）

(2) 整備数

49,000個

全市立小学校の低学年（1～3年生）児童合計46,308人（4月10日現在）の分に予備を加えた個数

(3) 防犯ブザーの仕様

- ・ 子どもでも使いこなせるよう、ピンを抜く方法だけでなくスイッチを操作する方法でも警報音を鳴らせる仕様としています。（警報音は120デシベル以上）
- ・ 装着のしやすさを考慮し、首から掛ける、ランドセルにつり下げる、ランドセルの肩ベルトに付ける等、複数の方法で装着できるようにしています。
- ・ 子どもが使用することから、多少の雨や雪にも耐える簡易防水構造を採用しています。
- ・ 周囲に児童が防犯ブザーを所持していることが分かるよう明るい外装色（黄色）を採用しています。

2 期待される効果

(1) 防犯効果

- ・ 低学年の児童全員が防犯ブザーを持つことによって、児童を狙う犯罪を抑止する効果
- ・ 非常時に警報音が周囲に鳴り響くことで、不審者を威嚇し遠ざけるとともに付近の住民に非常事態を知らせる効果

(2) 啓発効果

- ・ 保護者や児童に防犯意識を高めていただく効果
- ・ 学校を通じて配布し、教員が日ごろの携帯と利用の仕方について指導することにより、児童が危険から身を守ることができるようにする教育的な効果

3 他の政令指定都市における取り組み状況

防犯ブザーの配布：名古屋市、福岡市

購入費の一部補助：広島市（生活困窮世帯のみ）、北九州市

問い合わせ先

教育委員会総務部管理課

担当：越智

電話：211-3831

ぼうはん と あつか せつめい しょ 防犯ブザー取り扱い説明書

しょうほうほう 使用方法

ランドセルやバックにつけたり、首から下げて身の危険を感じた時にすぐにブザーピンを引ける状態しておきます。ブザーピンを引くと、約120dB（デシベル）の非常に大きな音で相手をおどろかせたり、周りの人に知らせることができます。

かくぶ せつめい 各部の説明

●フック付ストラップ

ランドセルの横などにつり下げることができます。その際、ブザーピンは付属ストラップで延長してください。

●スライドスイッチ

スイッチを横にスライドさせても鳴らすことができます。止めるためにはスイッチを元の位置に戻します。（ブザーはテストと非常時以外は鳴らさないでください。）

●ブザーピン

非常時にブザーピンを引くとブザーが鳴り続けます。止める時はブザーピンを元どおりに奥までさしこみます。

●安全ジョイント

強い力がかかるとはずれ、首が絞まるのを防ぎます。

●付属ストラップ

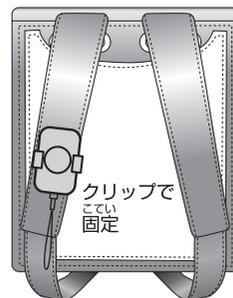
首からさげる時に使用します。また、ブザーピンのひもを延長するときにも使います。

●ブザー

●肩ベルトクリップ

ランドセルの肩ベルトに固定できます。首から下げる時にははずせます。

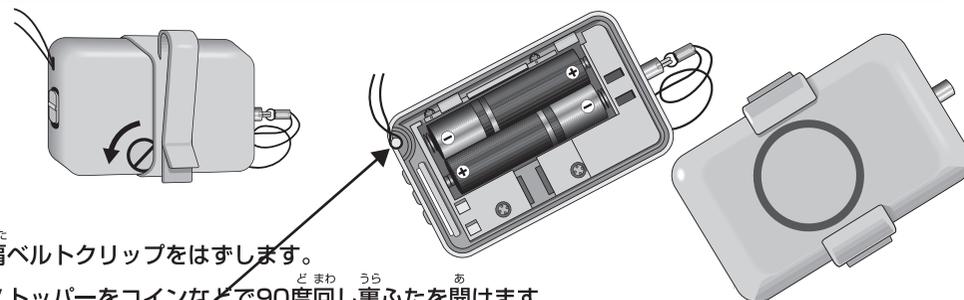
れい とりつけ例



ブザーのひもに、すぐ手が届くようにつけましょう。

付属のストラップでブザーピンのひもを延長します。

でんち こうかんほうほう 電池の交換方法



- ①肩ベルトクリップをはずします。
 - ②ストッパーをコインなどで90度回し裏ふたを開けます。
- ※この時、ストラップが落ちないように、気を付けてあけてください。
- ③単4電池2個を入れ替えます。
- 故障の原因になるので⊕⊖を間違えないようにしてください。

ちゅうい ほごしゃ かなら よ ご注意（保護者の方は必ずお読みください）

- ご使用前にスライドスイッチの固定テープをはがし、正常に作動するか点検してください。
- ブザーはテストで鳴らした後、非常時以外は鳴らさないでください。
- 水にぬらしたり、ぶつけたりしないよう注意してください。
- ブザーが鳴ること、電池の消耗などは、保護者が定期的にチェックしてください。
- 本製品は身の危険を感じた時、強力な警告音で相手をおどろかしたり、周りの人に知らせたりするものです。いたずらなどでむやみに鳴らさないようにしましょう。